

課題名	28. 「白川温州」「K2」の品種特性
成果の要約	<p>数多くの優良系統がある中で県内に導入されている白川温州、K2の本県での品質特性を明らかにするため、現地調査を行った。</p> <p>(1) 白川温州、K2とも樹勢は強く、枝の分枝角度が鋭角で、葉が大きく徒長枝の発生が多かった。</p> <p>(2) 果実は両系統とも偏平であるが、結果量の少ない樹では果皮が粗かった。</p> <p>(3) 果皮色は淡く、平成2年度は浮皮果の発生がみられた。</p> <p>(4) 平成元年度は両系統とも12度前後であったが、平成2年度は、11度～12度と地域及び結果量によって品質に差がみられた。酸含量は、K2が両年とも低かった。また、標高の高いところでは両年とも酸含量は高かった。</p> <p>高接ぎ樹齢が若いので、さらに調査を継続する必要がある。</p>
成績概要	

表1 果実形質

(平成2年)

成

系統名	調査場所	果形指数	果皮粗滑	浮皮の程度	着色歩合	果皮色(カ-チ+ト)	糖度	酸含量(g/100ml)
-----	------	------	------	-------	------	------------	----	--------------

白川温州	時津	160	1.4	0.2	10.0	6.5	11.7	1.10
K 2		159	1.0	0.2	10.0	6.4	11.2	0.74
青島温州		147	1.0	0.2	10.0	6.6	11.6	0.93

績

白川温州	長与	152	1.0	0	10.0	6.3	12.7	1.59
K 2		153	1.0	0.8	10.0	6.5	13.1	1.45
青島温州		147	1.0	0.6	10.0	6.3	13.1	1.32

概

白川温州	多良見	150	1.0	2.2	10.0	6.4	11.0	1.03
K 2		148	1.2	1.4	9.4	6.2	11.0	0.78
伊木刀系温州		124	1.4	2.8	10.0	6.5	11.0	0.97

白川温州	大村	149	1.0	1.4	10.0	6.4	11.8	1.29
K 2		153	1.0	0.4	10.0	6.5	12.2	0.85

白川温州	北高	154	1.8	0	10.0	6.5	11.0	1.24
K 2		149	1.4	0	10.0	6.5	11.8	0.82

白川温州	西彼	148	1.4	0	10.0	5.5	11.3	0.91
青島温州		139	1.2	0	10.0	5.7	11.9	0.99

要

注) 収穫日、平成1年12月10日、調査は12月11日 西彼のみ12月14日調査
*白川温州は、平成2年に品種登録となった。

(果樹試験場)

普及上の留意点

(1) 標高の高いところでは減酸が遅いので、日当たり良好な、標高の低い場所が望ましい。